週報
2026 9/16
No.9
RI第2620地区
静岡第1グループ

三島ロータリークラブ
第3285回・夜間例会

■会長:松田吉嗣君■幹事:綾部　剛君
●司会:宮澤淳子君
■URL:http://mishima-rc.com



第3285回の例会が「おんふらんす」さんでの開催でしたので、今回の週報トップは、フランス発祥の秋のお菓子「モンブラン」を取り上げてみました。
「モンブラン(Mont　Blanc)」はフランス語で「白い山」を意味し、アルプス山脈の最高峰「モンブラン山」の年中雪に覆われた美しい姿を模して作られたことからこの名になったんですね。「山」を表現するには、本来、栗ペーストを使用するようですが、現在では紫芋、かぼちゃ、抹茶、イチゴなど様々なペーストが用いられているようです。そして、「白い山」なので、仕上げに粉糖を振ったり、クリームを載せたりして雪山を表現するそうで……?!実は私、こんなコメントを考えていたら無性に「モンブラン」が食べたくなって、「ハピネス」さんに駆け込んだんです。でも、無かったんですぅ～、「モンブラン」が!　あぁ～、美味しいコーヒーと一緒に「モンブラン」が食べたい!!小松さん、また近いうちに行きますので…!?

会長挨拶

会長　松田吉嗣君

皆さん、改めましてこんばんは。
本日は「ガバナー公式訪問例会」ということで、国際ロータリー第2620地区の若林秀典ガバナーをはじめとする地区役員の皆様をお迎えしております。例会に先立ちまして、入会3年未満の若手メンバー5名とガバナーとの懇談会を開催し、大変貴重なご指導とアドバイスをいただきました。
本日は第3週の夜間例会として、フレンチレストラン「おんふらんす」様にて開催させていただいております。オーナーシェフの田中様はライオンズクラブのメンバーでもいらっしゃいますが、当クラブの夜間例会を快く引き受けてくださり、心より感謝申し上げます。
今宵は美味しいフレンチを味わいながら、皆様と和やかに親睦を深め、美味しい・楽しい・ロータリーらしい時間を共有できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

ゲスト・ビジター

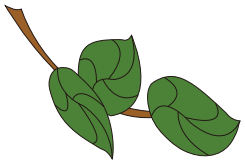
若林秀典ガバナー(藤枝南RC)
竹田敏和地区幹事(藤枝南RC)
鈴木健夫地区副幹事(藤枝南RC)
仲原実圭地区副幹事(せせらぎ三島RC)
北村太一ガバナー補佐(伊東RC)
木下拓也ガバナー補佐事務局(伊東RC)
原　環ガバナー補佐事務局(伊東RC)



出席報告

	出席総数	出席率	
今　回	32／43	74．42%	会員総数:43名

＜欠席者＞
・青木君　・伊丹君　・太田君　・長田君　・河田君　・古口君
・斎藤君　・佐藤(良)君　・瀬川君　・永田君　・山岡君



幹事報告

幹事　綾部剛君

1. ガバナー名を騙る不審メッセージ・詐欺への注意喚起
他地区におきまして、ガバナーの写真や名前を悪用し、寄付や振込を求める詐欺メッセージやLINEグループへの勧誘が届く事例が発生しております。当クラブおよびガバナー個人から、会員の皆様へ直接そのような連絡を差し上げることは一切ございません。すべての連絡は必ずクラブ事務局を通じて行いますので、不審な連絡には十分ご注意ください。
2. 次回例会および理事役員会の日程変更について
次回の例会は、長泉ロータリークラブ様との合同例会(会場:米山梅吉記念館)となります。
これに伴い、通常「第1例会後」に開催しております「理事役員会」につきましては、次回「第2週の例会前」へと変更させていただきますので、役員・理事の皆様はお間違えのないようご留意ください。

ガバナー公式訪問

RI第2620地区　若林秀典ガバナー

三島ロータリークラブの皆様、こんばんは。
本日は、伝統ある三島ロータリークラブの皆様に温かい歌声と心のこもったおもてなしで歓迎していただき、大変感激しております。私自身は1991年に藤枝南ロータリークラブのチャーターメンバーとして入会し、今年でロータリー歴36年目を迎えます。本日は昼間に山梨でクラブ訪問を行い、夜はこちら三島にお邪魔させていただきました。
1. RI会長テーマ「持続可能なインパクトを生み出そう」
国際ロータリー第2620地区2026～27年度のガバナーを拝命しました若林秀典(藤枝南RC)です。私の本職は歯科医師ですが今年1年は歯ではなく、2620地区クラブの未来づくりのお手伝いをさせていただく所存でおります。
三島RCは沼津RCをスポンサークラブとして1957年(昭和32年)に創立したと聞いております。地元に70年近くの奉仕を根付かせていることには敬意を表します。また、2004.7～2005.6には渡邉脩助ガバナーを輩出し、1965年(昭和40年)には伊豆長岡(現伊豆中央)RC、1972年(昭和47年)には三島西RCのスポンサークラブとして設立に実績を残しました。
さて、今年のRI会長(オラインカ・ハキーム・ババロラ　ナイジェリア)メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。このメッセージには「変化は始まりに過ぎません。真に重要なのは長く続くインパクトです。私たちは各プロジェクトの長期的なインパクトを考える必要があります。」
新しい水道システムは地域住民の健康にどのように寄与するのか。住民は他の地域でも同様の仕組作りを行えるのか。新しい教室はこの地域の教育向上のためのより大きな計画の中でどのような役割を果たすのか。と問題を提起してきました。私なりに解釈をすると私たちロータリアンが目指すのは一度きりの奉仕ではありません。その場だけ喜ばれて終わる活動ではなく、10年後、20年後にも地域に良い影響が残る活動をしようということだと考えます。各クラブにおいては長年、継続してやっている事業があると思います。ただ、それは前年踏襲でマンネリ化していませんか？予算や人的パワーの問題もあるでしょうが少し、手を加えるだけで画期的になるかもしれません。知恵を出し合ってみましょう。
地区のほうに話を移しますと2620地区の考えは3S　シンプル(simple)、スリム(slim)、スマート(smart)です。事業計画、予算、委員会構成、人数等できるだけわかりやすく、無駄を省き、簡便にしていきます。無理して背伸びすることなく、身の丈に合ったことをすれば十分ではないでしょうか。
そしてロータリアンの心構えとして3Kを大切にしてください。会社のK(事業)を第一優先事業にしてください。会社の存続があってのロータリーです。
各自の健康Kに気をつけてください。病気や怪我無く、無事に過ごすことが大事です。
家族Kの理解　自分だけが楽しむだけではなく、家族の協力、理解があってロータリー活動が続けられていることを常に感謝しましょう。
ロータリーの始まりは4人でした。それが今では200以上の国、地域で約117万人のメンバーがいます。ロータリアン一人ひとりの力は微々たるものですがこれだけの人数が結集すれば地区、地域がいい方向に変わるかもしれません。「ハチドリの一滴」のように。
「楽しくなければロータリーではない」とよく言われます。この1年、ロータリーライフを楽しみましょう。
よろしくお願いいたします。





新会員との懇談会



スマイルBOX

●堀内満喜子君
若林ガバナー、地区幹事の皆様、北村ガバナー補佐、事務局の皆様、今日はガバナー公式訪問に来ていただきありがとうございます。若林ガバナーの明るい笑顔とお人柄に元気をいただきたいと思っています。今日は三島RCを楽しんで下さいね！

●小野　徹君
商工会議所の80周年記念旅行に行って来ました。おかげさまで3日間晴れていました。